



- 1 人を大切にする力
- 2 自らの考えを持つ力
- 3 自分を表現する力
- 4 チャレンジする力

14名の卒業生のみなさん、卒業おめでとうございます

卒業生・卒業生保護者の皆さん ご卒業おめでとうございます。

146年の伝統ある白根源小学校の卒業生としての誇りを胸に、新しいステージに向けて、大きく羽ばたいていってください。

本日の卒業式での卒業生に贈る言葉を全文載せました。卒業生・卒業生保護者の皆さんには、もう一度、読んでいただくと幸いです。



卒業生に贈る言葉

厳しい冬を乗り越え、校庭の桜のつぼみが膨らみはじめています。春の息吹が感じられるこの良き日に、南アルプス市 教育長 増山希世彦様のご臨席を賜り、令和三年度白根源小学校卒業証書授与式が挙行できますことを、心より感謝申し上げます。

十四名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。卒業証書を受け取る皆さんの姿は、希望に満ちあふれ、キラキラと輝き、とても立派でした。卒業証書は、皆さんの六年間の「努力の結晶」です。同時に、家族の皆さんの「愛情の結晶」でもあります。そして、かけがえのない一人ひとりの「六年間の成長の証」です。大切にしてください。

さて、昨年度は新型コロナウイルス感染症のために、四月に入学式や始業式が行われず、五月終わりまで休校となりました。今年度は、入学式や始業式が予定通り実施でき、コロナの心配がなくなることを期待していました。しかし、状況は良い悪いを繰り返し、年が明けてからは、悪化の一途、この卒業式すら脅かす事態となりました。

みなさんの最高学年として、下級生にあんなこともこんなこともやってあげたい。リーダーとして、全校をこんな風に引っ張って行こうという熱い思いも十分に発揮させてあげることができませんでした。

しかし、みなさんは、このコロナ禍の中で、「集まらないで、みんなで楽しむにはどうしたら良いのか」を考え、ゆるキャラ総選挙、グジャレ選手権等の楽しい企画や白根源小の伝統でもある縦割り清掃、縦割り読書等々、いろいろな企画をしてくれました。縦割り清掃では、六年生が下級生の手本となり、おかげで無言清掃が下級生に定着しました。

運動会では、大声を出しての応援ができないので、ペットボトルの鳴り物を使い、色ごとに応援リズムのパターンを作り、下級生に指示を出し、団結した応援で競技を盛り上げてくれました。また、朝の時間等に競争競技のコツを下級生に指導したり、係の仕事を一手に引き受けたり、最高学年として下級生を引っ張ってくれました。

学習発表会では、「タピオカ・ツンドラ」不思議な歴史の旅と題して、社会科の歴史の学習をその時代に応じて、面白おかしくスライドも交えながら発表しました。保護者の皆さんに生で見ていただくことができずに残念でしたが、素晴らしいチームワークで素敵な発表を自分たちの力で作り上げました。

皆さんの修学旅行は、延期、延期の末、やっと思われしました。感染リスクをなるべく少なくするために、担任の河野先生の出身地の静岡県と山梨県の富士五湖地域を巡る二泊三日の旅となりました。仲間と一緒にであれば、どこに行っても楽しい修学旅行だと思いますが、富士山を中心とした静岡県と

山梨県の魅力を十分に知ることができました。富士山の自然だけでなく、文化遺産としての富士山も感じることができました。私もこの旅行をとおして、富士山を中心とした自然や信仰の素晴らしさと六年生の仲間との絆の深さ、また河野先生のふるさとを思う優しい気持ちを再確認することができました。みなさんも、自分たちが住んでいるふるさと、南アルプス市を振り返り、「もっとこうすれば発展するな」、「もっとこういう風にアピールすれば良いのに」等、いろいろなアイデアが浮かんできたのではないのでしょうか。

さて、中学校という新しいステージに立つみなさんにお願ひがあります。小学校を卒業しても「実感」と「手ごたえ」を大切にしてほしいということです。

中学校の学習は、どちらかというど、物事を抽象的にとらえたり、知識として学んだり、机の上での学習が多くなります。しかし、小学校で学んだように、実際のものに触れたり、実際に育てたり、実際の場所に行ったり、実際のもを見たり聞いたりする活動が大切です。そして、実際のもに触れ合うことにより、それが『実感』となって自分自身の中に蓄えられていきます。また、実際にやってみることにより、いろいろなことが分かってきます。「そうかこうやればいいんだな。」「こうやったらうまくいった。」「こうやると次はもっとできるぞ。」等々、『手ごたえ』を感じる事が大切だと思うのです。今、インターネットやSNSなど、映像や写真など、間接的な情報が氾濫しています。そういう時だからこそ、これからの時代を創っていく皆さんには、『実感』と『手ごたえ』を大切に、一歩ずつ、力強く進んでいってほしいと思います。次のステージでの皆さんの活躍を陰ながら応援しています。

保護者の皆様、本日はお子様のご卒業おめでとうございます。お子様が立派に成長されたことを、心からお慶び申し上げます。六年間、様々なご苦勞があったことと思いますが、今日の晴れ姿をごらんになり、その苦勞も、喜びに変わったことと思います。卒業生は中学校という次のステージへと向かいますが、これからも温かく、時には厳しく、子どもたちに愛情を注ぎ、その成長を見守っていただきますようお願い申し上げます。

最後に、六年間の長きにわたり、本日業立っていく卒業生を温かく見守り、支えていただいた地域の皆様に、全職員とともに、心から感謝申し上げます。

それでは、十四名の卒業生の皆さん、皆さんの前途に、幸多からんことをお祈りし、卒業生に贈る言葉といたします。



令和四年三月十八日

南アルプス市立白根源小学校 校長 河村 徳仁

卒業式総練習、コロナ禍だけど、素晴らしい卒業式を創ろうと、卒業生、在校生全員で一生懸命取り組みました。緊張感のある総練習ができました。

